

日本感情心理学会 常任理事会・理事会 議事録

日時： 2021年6月20日（日） 13時～15時50分 オンライン会議

出席者（敬称略）： 湯川進太郎（理事長），樋口匡貴（副理事長），金築優（事務局長），阿部恒之，有光興記，伊藤義徳，稲垣勉，岩永誠，岩佐和典，大平英樹，大竹恵子，河野和明，北村英哉，木村健太，澤田匡人，鈴木まや，手塚洋介，戸梶亜紀彦，中村真，成田健一，一言英文
委員長への委任： 蔵永瞳

【審議事項】

1. 2020年度の決算案について

・湯川理事長から，資料に基づき，2020年度の収支決算報告がなされて，承認がなされた。また，谷口高士，村田光二両監事による監査の結果，適切に執行されていることが確認された旨，湯川理事長から報告された。

2. 2021年度の予算案について

・湯川理事長から，資料に基づき，2021年度の予算案について説明がなされた。審議の結果，エモーション・スタディーズ 8号の支出を削除した形で，予算案を修正することとし，その案で承認された。

3. 2020年度（第28回）大会（就実大学）の会計報告について

・岩佐前大会委員長から，資料に基づき，2020年度（第28回）大会（就実大学）の収支決算報告がなされて，承認がなされた。

4. 「感情心理学研究」第28巻優秀論文賞および学術貢献賞の推薦について

・戸梶編集委員長から，資料に基づき，「感情心理学研究」第28巻優秀論文賞の審査の経緯について説明がなされ，以下の2編の論文が優秀論文賞候補論文として推薦された。審議の結果，この2編の論文を「感情心理学研究」第28巻優秀論文賞とすることが決定された。

著者：小林亮太先生，本多樹先生，町澤まる先生，市川奈穂先生，中尾敬先生

区分：資料 掲載誌：28巻2号

表題：日本語版 Body Perception Questionnaire-Body Awareness (BPQ-BA) 超短縮版の作成
—因子構造，および信頼性，妥当性の検討—

著者：福田哲也先生，蔵永瞳先生

区分：資料 掲載誌：28巻3号

表題：軽蔑を特徴づける状況

—嫌悪・怒りとの比較を考慮した探索的検討—

・戸梶編集委員長より，2020年度は学術貢献賞の該当者はいなかったことが報告された。

5. 「エモーション・スタディーズ」特別号申し合わせおよびエモーション・スタディーズ発行に関する規定の改訂について

- ・手塚編集委員長から、資料に基づいて、エモーション・スタディーズ特別号に関する申し合わせおよびエモーション・スタディーズ発行に関する規程の改訂について説明がなされ、承認がなされた。
6. 会費未納による除名（2020年度末）について
 - ・湯川理事長から、資料に基づき、会費未納者の確認が行われた。3年間の会費未納となっている会員の除名が承認された。また、機関誌への投稿や大会発表に際して、会費未納がないかどうかの確認がなされるべきであるという意見が出され、継続的な検討事項となった。
 7. 総会の実施方法について
 - ・湯川理事長より、今年度の総会の実施方法について、メールでの開催とすることが提案され、審議の結果、承認された。
 8. オープンサイエンスについて
 - ・樋口副理事長より、オープンサイエンスの推進について次期編集委員会で検討する必要がある旨が指摘された。
 9. 2025 - 2027年度の理事選挙における外部投票サイトの利用について
 - ・中村常任理事より、外部投票サイトを利用したオンライン投票の可能性が指摘された。
 10. クォータ制の導入について
 - ・湯川理事長より、理事会における女性比率などを踏まえ、会則の改訂等を含めて検討する必要性が指摘された。関連して、伊藤理事より、大会に関するオンラインと対面のハイブリッド開催が子育て中の研究者の大会参加を容易にする可能性も指摘された。
 11. 臨床心理士研修機会承認学術団体について
 - ・湯川理事長より、会員減少傾向への対処の一案として、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の承認学術団体へ申請する可能性が指摘された。関連して、伊藤理事より、一般社団法人日本公認心理師協会における専門認定に関する情報提供がなされた。
 12. 大会補助費の扱いについて
 - ・湯川理事長より、大会補助費の扱いについて、外部からの助成金があり、かつ、黒字となって学会に寄付する場合、会計に注意する必要があるため、黒字になった場合は補助金を返還する旨を大会規程に追加するかどうかを今後検討する必要性が指摘された。
 13. コロナ支援策について
 - ・湯川理事長より、コロナ支援策の検討が今後ありうることが指摘された。
 14. 第31回大会（2023年度）以降の主催校について

- ・湯川理事長より、第31回大会（2023年度）以降の主催校を検討する必要性が指摘された。

15. 今後の学会のあり方について

- ・中村常任理事より、学会所属の意義を高めるために、学会の活動およびその広報等を工夫していく必要性が指摘された。大平理事より、エモーション・スタディーズを通じた他領域との連携、学際的な方向や産業界との連携を追求するのが適切ではないかという指摘があった。また、北村常任理事より、ホームページ等を通じた情報発信の重要性が指摘された。どのような研究がなされているのかが企業等にわかりづらいなどの課題があり、ホームページの維持管理体制も含めて、検討する必要性が指摘された。

16. 年会費のクレジットカード支払いについて

- ・阿部理事より、日本心理学会における会員管理システムの開発に関する説明がなされた。6月24日に日本心理学会にて、ヒアリングが行われる予定である。関連して、澤田第29回大会委員長より、資料に基づき、大会参加費のクレジットカード支払いの導入について検討した結果、導入を見送ることとした旨が報告された。

【報告事項】

1. 会勢報告について

- ・湯川理事長より、資料に基づき、現在の会勢が報告された。

2. 各委員会報告について

- ・学術プログラム委員会（年次大会／セミナー／出版）
 - ・河野学術プログラム委員長より、資料に基づき、2020年度に行われたセミナー、各賞等の審議承認について報告がなされた。
- ・機関誌刊行委員会
 - ・樋口副理事長より、いくつかのオープンサイエンス関連のアンケートに回答したことが報告された。
- ・感情心理学研究編集委員会
 - ・戸梶編集委員長より、資料に基づき、委員会活動、感情心理学研究の発行状況、倫理問題等について、報告がなされた。投稿数の推移、また、追試研究・ネガティブリザルツWGの活動に関する質問がなされた。また、2022年度の生理心理学会との合同大会における論文集の取り扱いについて、検討の必要性が指摘された。
- ・エモーション・スタディーズ編集委員会
 - ・手塚編集委員長より、資料に基づき、委員会活動、エモーション・スタディーズの編集状況、及びJ-Stageの掲載内容について報告がなされた。
- ・倫理委員会
 - ・成田委員長より、「学協会における研究公正に関する取り組みと現状」の調査への回答をしたことが報告され、それに関連してオープンデータやリポジトリの取り扱いについて検討する必要性が報告された。

3. 大会関係について

- ・2020年度（第28回）大会 就実大学（委員長：岩佐）大会後アンケートの結果について
 - ・岩佐前大会委員長より、大会後アンケートの結果についての報告がなされた。
- ・2021年度（第29回）大会 学習院女子大学（委員長：澤田，事務局長：木村）
2021年10月30日（土）～31日（日）（オンライン）
 - ・澤田大会委員長より大会の概要についての説明がなされた。また、大会のホームページ作成費用に関する国際文献社とのやりとりの経緯について説明がなされた。今後学会サイト上に特設サイトとして大会ホームページを設置しておく方向性についても説明がなされた。今後の委託先の検討も念頭に入れる必要があることが指摘された。
- ・2022年度（第30回）大会 関西学院大学（委員長：成田，副委員長：有光，事務局長：一言）
 - ・成田第30回大会委員長より、2022年5月27日（金）～5月29日（日）の日程での開催が進められていることが報告された（第2候補は、2022年6月3日（金）～6月5日（日）である）。現段階では、対面での開催を計画している。特別講演として、今田寛先生による「日本の心理学の姿」と題した講演を企画していることが報告された。

4. 表彰関係について

- ・湯川理事長より、以下の通り、第28回大会（就実大学）における優秀研究賞・独創研究賞及び精励発表賞が報告された。
 - ・大会発表賞
 - ・優秀研究賞：朱思齊先生（共著者：佐々木恭志郎先生，姜月先生，錢琨先生，山田祐樹先生）
題目：中国辺境の少数民族におけるトライポフォビアへの耐性
 - ・独創研究賞：朱思齊先生（共著者：佐々木恭志郎先生，姜月先生，錢琨先生，山田祐樹先生）
題目：中国辺境の少数民族におけるトライポフォビアへの耐性
 - ・精励発表賞：本多明生先生，金子迪大先生，佐藤俊彦先生

5. 日本心理学諸学会連合について

- ・湯川理事長より、日本心理学諸学会連合の社員総会の内容が報告され、2021年度の心理学検定は、コンピューターを導入した検定となることが報告された。

6. 公認心理師養成大学教員連絡協議会について

- ・湯川理事長より、公認心理師養成大学教員連絡協議会からの情報について、当学会員に必要と考えられる情報を適宜ニューズレターにて配信している旨が報告された。

7. 2022 - 2024年度の理事選挙と選挙管理委員会の選出について

- ・湯川理事長より、2022 - 2024年度の理事選挙と選挙管理委員会の選出について、以下の日程で進める予定であることが報告された。
7月中 選挙管理委員会設置・委員委嘱

9月1日 理事選挙公示（被選挙人名簿等を会員へ郵送）
9月30日 理事選挙投票締切（郵便による投票）
10月中 開票→（郵送による）就任の諾否→「新理事」決定
理事長選挙公示（新理事による互選）
11月30日 理事長選挙投票締切（ポータルによる投票）
12月中 「新理事長」決定

以上